

News Release

2016年1月5日

当社代表取締役社長 登坂正一による、太陽誘電グループ従業員向けの「2016年 年頭挨拶」の内容を以下の通りお知らせいたします。

### 見える化、見せる化で未来へ備えを

明けましておめでとうございます。

私は、昨年11月1日付で代表取締役社長に就任しました。社長が変わっても、太陽誘電グループが目指しているもの、今われわれが取り組むべきことはこれまでと同じです。中期経営計画の目標とそれを達成するための基本戦略に変更はありません。「市場」「商品」「顧客」「財務」「人材」の5つの基盤を強化し、太陽誘電のプレゼンスを高めていきます。

皆さんには、太陽誘電グループのビジョンである「お客様から信頼され、感動を与えるエクセレントカンパニーへ」を実現するために、これまで以上に視野を広げ、より長期的な視点で物事をとらえて行動してほしいと思います。“信頼”とは、求められるレベルを満たし、期待に応えることで得られるもの。“感動”とは、期待を超えた時に生まれるもの。この2つを実現してエクセレントカンパニーになるためには、安全な製造現場、効率的なエネルギー使用、高い歩留まり率といった「スマートプロセス」から生まれる、高品質で低消費電力、小型で有害物質を含まない「スマートプロダクト」が必要です。皆さんの手で、お客様に信頼され、感動していただける“スマート”な商品をどんどん生み出してください。

ある将来予測によると、2040年には全世界でネットワークに繋がるデバイスの数が一人当たり1000個、合計10兆個にまで跳ね上がると予想されています。これはつまり、電子部品の需要が急激に高まり、生産量も桁違いに増えるということです。これから爆発的に増えていく生産量に対応するためのカギは、IoT（モノのインターネット）とビッグデータの活用です。生産効率や歩留まり率、品質を高めるためには、現場のあらゆる情報の「見える化」「見せる化」が欠かせません。見える情報の種類を増やし、見える範囲を広げ、より有益なシステムへと進化させ、どんどん現場で活用していただきたいと思います。今から準備を万全にし、来るべき未来に備えましょう。

次のステージに向けた強い企業体質の構築を、皆さんとともに推進していきたいと思います。スーパーハイエンド商品のさらなる伸長、自動車や産業機器など注力すべき市場における事業の拡大、人材開発の加速、経営品質の向上。やるべきことは山積みですが、私たちが目指す太陽誘電グループの姿、ビジョンの実現に向かって、一步ずつ前進していきましょう。